

平和大使運動の紹介

AMBASSADORS FOR PEACE AN INTRODUCTION



UPF-Japan



平和大使協議会

平和大使とは

「平和大使」とは、人類の普遍的倫理価値、真の家庭の実現、超宗教的協力、超国家的調和、国連の刷新、責任言論、平和文化の促進を实践するグローバルリーダーです。平和大使の使命は、宗教・国境・人種の壁を超え、人類の悠久なる願いである平和統一世界の実現に貢献することにあります。

ビジョン

One Family under God（神の下の人類一家族世界）の実現

基本理念

- ①家庭は「愛と平和の学校」である
- ②宗教・倫理・道徳を尊重する
- ③他者のために生きる生活が平和への道である
- ④宗教、国境、人種の壁を超えた協力が平和をもたらす
- ⑤地球環境を保全する
- ⑥次世代の指導者を育成する

平和大使の資格

- ・各界の指導者で、専門性と徳望をもって平和実現に貢献している者
- ・平和大使運動の「基本理念」を理解し、支持する者

平和大使の任命機関：UPF（Universal Peace Federation）

平和大使は、グローバルに活動を展開している国連NGOであるUPF（本部：米国ニューヨーク）によって任命されています。



平和大使運動

日本では、世界平和に貢献する自由で開かれた国づくりをめざして「平和大使協議会」を組織し、3つのゴールを掲げて全国で広範な活動を推進しています。

3つのゴール

- 「平和国連」のモデルを形成する
- 日米韓を基軸として、アジア太平洋地域の平和と繁栄に貢献する
- 平和理想家庭の価値と、ために生きる「奉仕の文化」を定着させる

主な活動

- ①家庭を基盤として地域社会、国づくりの推進
 - ・「人づくり、家庭づくり、国づくり」国民運動の推進
 - ・地域課題解決に向けたプロジェクトの推進
 - ・次代を担う青年指導者の育成
- ②アジアと世界の平和に資する運動の推進
 - ・宗教・宗派の枠を超えた宗教者による平和貢献活動
 - ・自由と民主主義の価値観を共有する日米韓及びアジア太平洋諸国との連携強化
 - ・日本国内の安全保障体制への意識向上と体制の強化
 - ・日韓トンネル建設の推進のための活動
- ③シンクタンクとの連携による政策提言活動
 - ・理念をベースとした政策提言
 - ・国民運動への教材・資料の提供





平和大使のリーダーシップ

家庭を基礎とした地域社会、国づくり運動を展開 —「人づくり、家庭づくり、国づくり」国民運動

「人、家庭、国づくり」国民運動は、健全な結婚・家庭、奉仕の文化を社会に定着させ、強い絆で結ばれた「家庭」を単位とした地域社会と国家の創生をめざす運動です。



ファミリーボランティア活動

「ファミリー・ボランティア」は、奉仕の文化を社会に拡大し、家族と地域の絆を強める社会貢献活動です。



家庭基盤充実と「家庭」を単位とした国づくり・法制化運動

- 思想・政策啓蒙（家庭ビジョンセミナー、講義案・政策資料作成）
- 条例制定・法制化運動

ファミリープロミス運動

「ファミリー・プロミス」はよりよい家庭づくりをめざして家族が互いに唱和し、実践する8つの約束です。



結婚・家庭価値の啓蒙と健全な結婚文化醸成活動

- 若者への結婚・家庭セミナー
- 各種啓蒙ラリー
- 有害環境の浄化活動



ファミリー・プロミス宣言

1. 私たちは、家族同士や隣近所の人々と笑顔で挨拶をします。
2. 私たちは、一人一人の手供と社会の時間を大切にします。
3. 私たちは、夫婦でいつも仲良くつなぎます。
4. 私たちは、親親と貞節を守り、生涯伴侶を愛します。
5. 私たちは、先祖を大切にし、敬孝行をします。
6. 私たちは、祖父母を敬い、三世代の絆を大切にします。
7. 私たちは、地域でのファミリー・ボランティア活動を進めます。
8. 私たちは、家族の約束を守り、責任を果たします。

※QRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みください！

キャンペーン企画

毎年2回、5月の「国連・国際家族デー」と11月の「家族の日・家族の週間」の年2回、全国キャンペーンを展開し、家族や地域社会が参加して絆を深める運動を推進しています。

次世代指導者の育成

- 復興支援
- 国際ボランティア

アジアと世界の平和形成に資する運動の推進

海洋国家日本として、強固な安保体制を確立するための国民運動を展開するとともに、東アジアの平和と繁栄に不可欠な日米韓連携を強化する活動や、世界益に資する宗教的価値観をベースとした平和貢献活動を推進します。

日米同盟と日本の 安保意識・体制の強化

平和大使運動は、日本の安全保障に対する意識啓発を目的とした「安保大会」や「安保思想セミナー」を推進しているほか、安保体制強化のための法整備の必要性を訴えています。

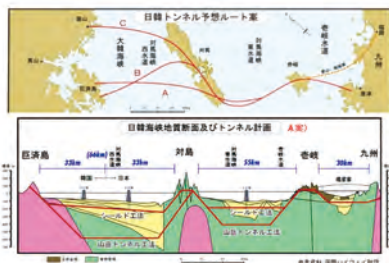


宗教者による宗教・宗派の枠 を超えた平和貢献活動



日韓関係強化と東アジアの平和と 発展をめざす運動

東アジアの平和と繁栄にとって、とりわけ日韓関係の強化は不可欠です。日韓両国の平和大使、有識者の相互交流を推進しているほか、具体的なプロジェクトとして「日韓トンネル」実現のための活動を全国で展開しています。





平和大使協議会では UPF と連携して、国内外の第一線で活躍する各界の平和大使、専門家を招き、世界平和の構築に向けたビジョンと具体的方策を協議するための各種国際会議やシンポジウムを定期的に開催しています。

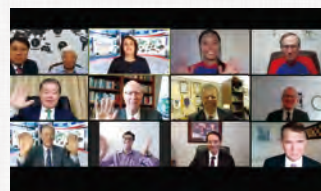
これまでに開催した主な国際会議、シンポジウムなど

- 国際指導者会議（ILC-Japan）2018「流動化する世界と平和構築：政治と宗教の役割」（「宗教と外交センター」名誉会長・ダグラス・ジョンストン氏、米ワシントン・タイムズ紙コラムニスト・ビル・ガーツ氏など＝2018年12月11日、東京）
- ジャパンサミット＆リーダーシップカンファレンス（JSLC）2019「太平洋文明圏時代——東アジアの平和と日韓米連携の展望——」（元米国下院議長・ニュート・ギングリッチ氏、米下院議員・アンディー・ビッグス氏、韓国元国会議員・金奎煥（キム・ギュファン）氏など＝2019年10月5日、名古屋）
- 国際指導者会議（ILC-Japan）2020 特別懇談会「ポストコロナの世界——平和秩序と日本の役割」（＝2020年6月30日、東京）



日本における外交リーダーのネットワーク：平和外交フォーラム





組織概要

本部および地域別平和大使協議会

平和大使協議会は、平和大使運動全般の方向性や活動を統括する「本部」と、その活動方針のもとで各地域のネットワークと特色を生かして活動する「都道府県協議会」からなります。

分野別フォーラム

「分野別フォーラム」は、平和大使の専門分野を中心に協議会の下に結成されたネットワークです。



梶栗正義
平和大使協議会
会長

平和大使の任命機関 UPF の国際的活動



・国連改革の推進

国連において、宗教指導者と政治家との対話を促進するため「超宗教議会」設置を呼び掛け、国連改革を推進しています。



・国連持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献

諸宗教の対話と協力を推進し、健全な家庭を強化する活動を通して SDGs に貢献しています。

・平和構築活動：北東アジア平和イニシアチブ（NEAPI）

アジア太平洋諸国の連携強化、韓半島の平和統一に向けた諸国間の交流を促進するイベントやセミナーを開催しています。



・超宗教的協力：中東平和イニシアチブ（MEPI）

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の和解運動として、さまざまな宗教指導者や知識人と共に、聖地巡礼、平和行進、超宗教祈祷会などを行っています。



・宗教青年奉仕団（RYS）

異なる信仰を持つ青年指導者が世界各地から参加して奉仕活動を行い、宗教・宗派の壁を超えた交流と相互理解を深めています。



・家庭の強化

健全な家庭を形成するためのセミナー、人格教育、純潔運動などを推進しています。

平和大使の任命機関である UPF (Universal Peace Federation = 天宙平和連合) は、2005 年 9 月に文鮮明・韓鶴子総裁夫妻によって創設されました（本部：米国・ニューヨーク）。現在、国連経済社会理事会（ECOSOC）の総合協議資格（カテゴリー 1）を持つ国連 NGO として、国連改革や SDGs の達成に貢献しながら、世界平和実現のための活動を推進しています。



文鮮明・韓鶴子総裁夫妻



トーマス・ウォルシュ
UPF-International 議長



梶栗正義
UPF-Japan 議長

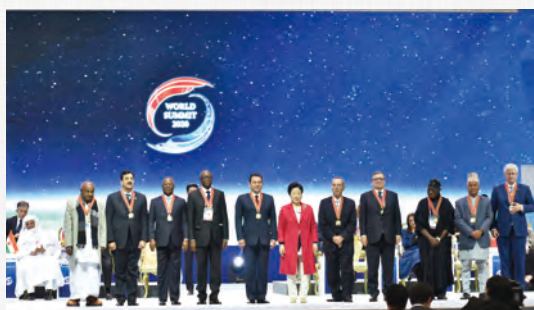
各国首脳らによる世界サミット (World Summit)



UPF では、各国首脳などが参加するワールドサミットを主催しています。2020年2月には、韓国京畿道高陽市にある国際展示場「KINTEX」をメイン会場に「ワールドサミット 2020」が開催されました。世界各国の前・現職首脳のほか、国会議員や宗教指導者、メディア関係者、ノーベル賞受賞者など 120 カ国から約 6000 人が一堂に会し、「『共生・共栄・共義』主義による恒久平和の確立」をテーマに、一国中心主義と環境破壊、貿易紛争、テロなど、世界平和と人類の生存を脅かす危機的課題について議論を深めました。



韓鶴子総裁と参加した各国首脳ら（2020年2月4日）



平和大使運動を推進する世界のリーダー



潘基文氏
(前国連事務総長)



ディック・チェイニー氏
(米国元副大統領)



ジョゼ・バロゾ氏
(欧州委員会元委員長)



ニュート・ギングリッチ氏
(米国元下院議長)



マッキー・サル氏
(セネガル大統領)



フン・セン氏
(カンボジア首相)



ブリジ・ラフィーニ氏
(ニジェール首相)



レニー・ロブレド氏
(フィリピン副大統領)



アノテ・トン氏
(キリバス元大統領)



グッドラック・ジョナサン氏
(ナイジェリア元大統領)



コイラ・マラ・ナイラティカウ氏
(フィジー大統領夫人)



クリストファー・ヒル氏
(米国元国務次官補)



ムニブ・ユナン師
(ルーテル世界連盟元議長)



カルバン・フェリックス師
(カトリック枢機卿)



ポーラ・ホワイト氏
(米国元大統領宗教特別顧問)



大野 功統氏
(元防衛庁長官)

各界各層のグローバルリーダーが 平和大使に



平和大使に授与される任命状



平和大使運動は世界 150 カ国以上に展開する UPF、平和大使協議会を拠点にグローバルな活動を展開しています。

●ホームページ

<https://upf-jp.org/> (UPF-Japan)

<https://peaceambassador.org/> (平和大使協議会)

<https://heiwataishi.online/> (会員ウェブメディア)



●フェイスブック

<https://www.facebook.com/heiwataishi.net/>